

4)これからの牛久市の都市計画の取り組みについて

問6 牛久市の今後の開発と保全のあり方についてどのようにお考えですか。 [SA]

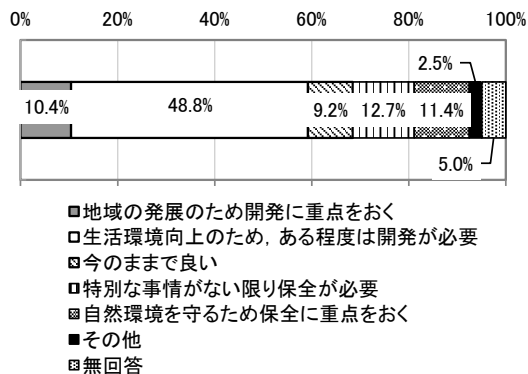
今後の開発と保全のあり方については、「生活環境向上のため、ある程度は開発が必要」が48.8%と最も多くなっています。

A.単純集計

・今後の開発と保全のあり方については、「生活環境向上のため、ある程度は開発が必要」が48.8%と最も多く、次いで「特別な事情がない限り保全が必要」が12.7%となっています。

		票数	今回
1	地域の発展のため開発に重点をおく	127	10.4%
2	生活環境向上のため、ある程度は開発が必要	597	48.8%
3	今のままで良い	113	9.2%
4	特別な事情がない限り保全が必要	155	12.7%
5	自然環境を守るため保全に重点をおく	139	11.4%
● 6	その他	31	2.5%
	無回答	61	5.0%
	合計	1,223	100.0%

N= 1,223



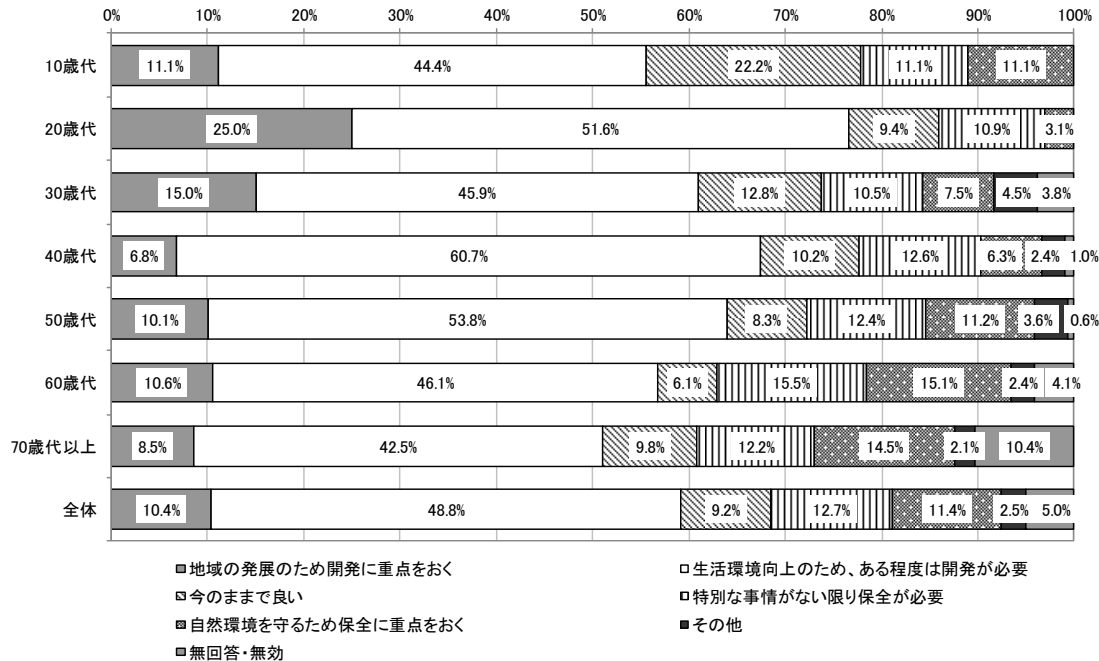
> ■その他の内容

開発と保全の調和[7], 道路(行き止まり, 歩道, 街路灯など)の整備や安全対策[6], 空き家・空き地・跡地の管理や活用[5], 既存のまちやものを活かして質を高めるまちづくり[4], 高齢者や子どもに対応したまちづくり[3], 企業誘致[2], 住宅以外の市外から人を呼び込むための開発[2], 災害に対応したまちづくり[1], 持続可能なまちづくりなまちづくり[1], 下水道の整備[1], よくわからない(判断できない)[2]

B.クロス集計

・年齢別にみると、「生活環境向上のため、ある程度は開発が必要」と回答した人が、「40歳代」では60.7%、「50歳代」で53.8%となっており、他の世代と比較して多くなっています。
 ・「20歳代」では、「地域の発展のため開発に重点をおく」と回答した人が25.0%と、全体よりも14.6ポイント多くなっています。
 ・居住地区別にみると、「生活環境向上のため、ある程度は開発が必要」と回答した人が、「岡田小学校区」では54.7%、「奥野小学校区」では55.4%、「ひたち野うしく小学校区」では59.1%と、他の居住地区と比較して多くなっています。

【年齢別】



【居住地区別】

